

OPINION

ナビゲーター

ための出張旅行というようながごく通常の手段で、互いの知識を高め、促進する必要があります。

観光については、スイスより日本の方がより大きな効果を発揮するはずで、確かに役立ちます。実際、UNWTO(注3)による統計では、2

自由貿易協定(FTA)が存在しても活用されないのは、文化の違いだけでなく、貿易を円滑にするために何がすでに行われているのか、双方に知識が十分でないことが明らかです。別な言葉なら、観光、駐在などの古くからのよき時代の通商や事業展開の

日本への期待 世界各地から

其
15

永続的な友好関係のために

018年にスイスを訪問した日本人観光客は22万3101人で、日本人観光客全体にとって最も人気のある訪問先の一つになっています。訪日客が非常に少ないスイス人観光客にとっては、そうではありません。

現在には非常に限られますが、駐在員が増えれば、多少は肯定的な寄与が期待できるでしょう。2018年の統計データによると(注4)、日本在住のスイス人は1656人、スイスに住む日本人は5193人です。同一資料では、その時点でスイスに住んでい

日本とスイス(下)

たアメリカ人とカナダ人は、それぞれ1万7357人と6111人でした。

とはいえ最大の貢献は、関係者間における通商会議と同じように、目的を明確にした、有益な事業展開によるといえます。これこそ日本・スイス間の通商とさらなる事業発展に大きく貢献するに違いありません。その意味で、コロナまん延から2年中断していたビジネス客の日本訪問が最近再開されたことは、たいへん良い兆候でしょう。

連載を終えるにあたり、個人的なことを加えます。私自身は、M&Aに関する顧問や合併後の経営統合、事業やプロジェクトの評価、デューデリジェンス、さらに中小企業に対する企業変革プログラムの定義、立ち上げ、実施を専門とする経営コンサルタントとして働いています。スイスと日本の通商関係のさらなる発展に貢献したいと考えています。このためには十分な準備が必要です。適切な日本のパートナーを見つけるためには市場調査が必要で、適切な日本市場のセグメントの研究と、少なくとも日本文化や言語を学ぶことが必須の美を発見する楽しみがあります。

- 注1: Swiss Federal Office for Customs and Border Security, Trade Statistics (スイス連邦警備税・国境警備局、貿易統計、2021)
<https://www.bazg.admin.ch/bazg/en/home/topics/swiss-foreign-trade-statistics/daten/handelspartner.html>
- 注2: Prof. Patrick Ziltener, 2016, on behalf of the SJCC, Swiss Japanese Chamber of Commerce(スイス日本商工会議所) <https://www.sjcc.ch/faq/economic-data/>
ここまでは、8月1日掲載分。
- 注3: UNWTO = United Nations World Tourism Organisation(国連世界観光機関)
<https://www.unwto.org/tourism-data/tourism-flows-source-markets-destinations>
- 注4: Swiss Secretariat of State for Migration (スイス連邦移民局、2018)
<https://www.sem.admin.ch/sem/de/home/publiservice/statistik/auslaenderstatistik/archiv/2018/08.html>

ます。日本の山々をハイキングしたりスキーしながら、スイスアルプスとの違いを比較し、サムライの城と欧州の城とがどう違うか、より専門的な面では日本の鉄道がスイスよりも定時性が高いことなどを比較してみたいと思います。私のようにすでに6カ国語を操る人間にとつても、文化や言語の理解には長期的な対応が必要です。日本語は特別な難しさがあり、強い意志と優れた実績のある教科書があっても、習得するのは簡単だとは思えません。

このシリーズから日本とスイスの現状、また今後をお楽しみいただけたら幸いです。

【スイス ルジエロ・ウイズレル、リーム中産連】
(月曜日に掲載)